

事務事業名	自転車駐車場整備費										担当課	部課名	道路河川部道路河川総務課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	07	細目	001	説明	02	課等の長	佐藤 繁	電話	4414

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	駐輪需要が高く、自転車等駐車場が不足している駅周辺の自転車等駐車場の整備を図る。また、無料自転車等駐車場の有料化、既存有人管理自転車等駐車場の機械化を段階的に進める。						
事業目的及び必要性	放置自転車の解消を図るとともに、歩行者の良好な道路環境の確保、自転車利用者の利用環境の向上を図ることを目的として、駐輪需要が高く自転車等駐車場が不足している駅周辺の自転車等駐車場の整備を図る必要がある。						
対象	1. 個人	市民				438,968	人
根拠法令等	法律等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、藤沢市自転車等の放置防止に関する条例、藤沢市自転車等駐車場条例					

藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)

まちづくりコンセプト		重点施策名	
<input checked="" type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由) 自転車を利用しやすい安心・安全な環境づくりに取り組み、自転車利用を促進していくことで、健康増進につながる効果や、低炭素型社会の構築に向けた都市づくりにつながっていくため。		防犯・交通安全対策の充実	
		指針体系コード	
		1-2-31	
2030年又は事業終了時の望ましい姿		その他の計画との関連	
新たな駐輪施設が整備され、既存無料自転車等駐車場の有料化や、既存自転車等駐車場の機械化が完了することで、自転車の利用環境、利便性が向上し、自転車を利用しやすい環境が整っている。		自転車施策に関する総合的な計画である「ふじさわサイクルプラン」(自転車活用推進計画)の実効性を高めるため、実施計画を策定している。	
貢献する主なSDGsのゴール			
3	すべての人に健康と福祉を		
11	住み続けられるまちづくりを		
17	パートナーシップで目標を達成しよう		

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自転車の駐輪施設(駐輪場など)の場所や設備について	2.41 点	点	点	点
道路や施設が誰でも利用できるものであること	点	3.13 点	3.14 点	3.37 点

令和3年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	旅費	18 千円	旅費
	需用費	961 千円	修繕費
	賃借料	7,433 千円	自転車等駐車場の管理機器、管理棟賃借料
	工事請負費	47,530 千円	江ノ島駅、藤沢本町駅の自転車等駐車場整備工事
56,037 千円	補償補填費及び賠償金	95 千円	藤沢本町駅工事施工に伴う支障物件移送
【参考】 令和4年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	旅費、需用費、役務費	2,672 千円	旅費、修繕費、役務費
	委託料	8,316 千円	測量費
	賃借料	15,742 千円	自転車等駐車場の管理機器、管理棟賃借料
	工事請負費	42,823 千円	自転車駐車場整備工事、放置禁止区域標識設置工事
78,993 千円	負担金	9,440 千円	JR用地フェンス設置負担金

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	2.05 人工	2.05 人工	2.36 人工	2.20 人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00 人工	0.00 人工	0.00 人工	0.00 人工
非常勤職員	0.00 人工	0.00 人工		
合計	2.05 人工	2.05 人工	2.36 人工	2.20 人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			0.10 人	0.10 人
---------------	--	--	--------	--------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	ふじさわサイクルプラン実施計画に基づき自転車等駐車場の①新設、②有料化、③機械化の取組を行った。 ①「藤沢駅北口路上自転車駐車場」の供用を開始。(令和3年12月1日) ②「江ノ島駅自転車等駐車場」の供用を開始。(令和3年7月16日) (仮称)藤沢本町駅自転車駐車場整備工事の着手。(令和3年12月10日) ③「藤沢駅南口第2自転車駐車場」にゲート設置。(令和4年1月17日) 「藤沢駅北口市役所前第1自転車等駐車場」に定期更新機の設置、「藤沢駅北口市役所前第2自転車駐車場」にゲート設置。(令和4年2月1日)						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果目標	放置自転車等台数(対前年比10%減)	台/日	198	178	160	144	
	警告書の添付枚数(対前年比10%減)	枚/年	26,244	23,620	21,258	19,133	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	市営自転車等駐車場の増加収容台数	台	362	0	-259	-99	有料化に伴う、無料自転車等駐車場の閉鎖により収容台数が減少。
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	放置自転車等台数(実態調査)	台/日	140	246	132	123	令和2、3年度はコロナ禍の影響と考えられる。
	警告書の添付枚数	枚/年	18,713	21,680	12,693	11,492	
	市営自転車等駐車場の総収容台数	台	15,319	15,319	15,060	14,961	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト	行政費用(フルコスト) A	74,567	47,108	365,526	76,252				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	75,256	47,090	364,599	76,733				
	事業費(支出済額)	54,701	26,400	341,917	56,037				
	償還金利息	801	767	710	987				
	人件費合計(①+②+③)	19,754	19,923	21,972	19,709				
	①常時勤務職員等の給与等	18,792	18,739	20,556	18,558				
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	140	232				
	③退職金相当額	962	1,184	1,277	919				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-689	18	927	-481				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	-689	18	927	-481				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他( )	0	0	0	0				
	行政収益(事業収入) B	31,700	14,300	262,446	35,600				
(3)現金を伴う収入 (千円)	31,700	14,300	262,446	35,600					
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0					
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0					
③国庫支出金	0	0	44,546	0					
④県支出金	0	0	0	0					
⑤その他(自転車駐車場整備事業債)	31,700	14,300	217,900	35,600					
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0					
収入未済増減額	0	0	0	0					
収支差額(純費用)A-B E	42,867	32,808	103,080	40,652					
分析指標	項目	市営自転車等駐車場の総収容台数 F	15,319	15,319	15,060	14,961			
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	4,867.62	3,075.14	24,271.31	5,096.75				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	99.85	429,317	75.76	433,060	236.90	435,121	92.61	438,968
	受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	藤沢駅南口において、駐輪施設の整備が必要。 既存無料駐輪施設の有料化の取組として、藤沢本町駅、片瀬江ノ島駅周辺の駐輪施設において、繰越工事にて整備中。 コロナ禍におけるゲートの機械化など非接触型機器の導入を進める。機械化に伴い既存駐輪台数の減少が課題となる。
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	藤沢駅南口において藤沢駅鶴沼海岸線自転車駐車場整備について関係機関との調整を進めた。また藤沢駅南口自転車等駐車場の増築に向け、東日本旅客鉄道株式会社との調整を進め進捗が図られた。 藤沢本町駅自転車駐車場、江ノ島駅自転車等駐車場において、有料化に向けて整備工事を行った。 既存有人有料駐輪施設において、利用者のサービス向上、料金徴収の無人化を進めるため、藤沢駅北口市役所前第1、第2自転車等駐車場、藤沢駅南口第2自転車駐車場のゲート設置等による機械化を行った。
(3) 令和3年度末時点の課題	藤沢駅南口において、駐輪施設の整備が必要。 既存無料駐輪施設の有料化の取組として、藤沢本町駅周辺の駐輪施設において、繰越工事にて整備をしている。 ゲートの機械化など非接触型機器の導入を進めているが、機械化に伴い既存駐輪台数の減少が課題となる。
(4) (3)解決のための今後の取組	藤沢駅南口においては、藤沢駅鶴沼海岸線駐輪場整備、藤沢駅南口自転車等駐車場の増築に伴う調整を進める。 藤沢本町駅自転車駐車場において、有料化に向けて整備工事を進める。 既存有人有料駐輪施設において、ゲートの機械化などを施設ごとに実施する。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="checkbox"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) <input type="checkbox"/> イ=市の条例等で規定されている事業 <input type="checkbox"/> ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの <input checked="" type="checkbox"/> エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの <input type="checkbox"/> オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input checked="" type="checkbox"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの <input type="checkbox"/> イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの <input type="checkbox"/> ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの <input type="checkbox"/> エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの <input type="checkbox"/> オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="checkbox"/> ア=恒久的に実施するもの <input checked="" type="checkbox"/> イ=年限の定めのないもの <input type="checkbox"/> ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの <input type="checkbox"/> エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの <input type="checkbox"/> オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	<input type="checkbox"/> ア=300,000千円以上 <input type="checkbox"/> イ=100,000千円以上～300,000千円未満 <input checked="" type="checkbox"/> ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 <input type="checkbox"/> エ=5,000千円以上～30,000千円未満 <input type="checkbox"/> オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="checkbox"/> ア=80%以上 <input type="checkbox"/> イ=50～80%未満 <input checked="" type="checkbox"/> ウ=30～50%未満 <input type="checkbox"/> エ=10～30%未満 <input type="checkbox"/> オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input checked="" type="checkbox"/> ア=10%未満 <input type="checkbox"/> イ=10～30%未満 <input type="checkbox"/> ウ=30～50%未満 <input type="checkbox"/> エ=50～80%未満 <input type="checkbox"/> オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		3. 施設等整備	なし

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	令和3年度はコロナ禍のため、自転車等駐車場の利用率がここ数年に比べ減少しているが、本市の人口予測では令和12年まで増加が見込まれ、自転車等の利用者についても増加する傾向にあることから、駐輪需要を満たす自転車等駐車場の整備推進が必要である。また、施設についても老朽化が進み改修の際の代替施設も必要である。一方でコロナ禍のため、新しい生活様式への変化も想定されるため、今後注視する必要がある。			
	令和3年度(参考)	横須賀市	平塚市	藤沢市
他市等の事例	市営駐輪場箇所数	28カ所	19カ所	34カ所
	収容台数	8,769台	11,812台	14,961台
	放置自転車	370台	23台	123台
市民ニーズ	把握方法	指定管理者による施設の運営等に関する年1回のアンケートを実施。 (昨年度はコロナ禍のため、実施していない。)		
	把握内容	指定管理者によるアンケートでは、駐輪場所の増設・拡大、照明設備の充実や場内駐輪間隔の拡大などが求められている。		
	対応等	引き続き市民ニーズの把握に努めるとともに、多様なニーズへの対応検討を含め、今後の駐輪施設整備をはじめとする様々な自転車等に関する施策に反映するよう努める。		

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	「ふじさわサイクルプラン」について実効性を高めるため、「ふじさわサイクルプラン(藤沢市自転車活用推進計画)【実施計画】(はしる・とめる)」を策定した。 7月16日に江ノ島駅自転車等駐車場を供用開始し、(仮称)藤沢本町駅自転車駐車場整備工事の造成工事が完了し、引き続き(仮称)藤沢本町駅自転車駐車場整備工事に着手したことにより、良好な自転車利用環境及び歩行環境の確保につながった。 藤沢駅周辺について、空いている民有地の空スペースを民間駐輪場として利用する駐輪場シェアサービス事業において、協定に基づき不正駐輪に対する警告、移動及び保管について協力をを行い、不足している駐輪場の確保を図った。	
	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	令和2年度に策定した「ふじさわサイクルプラン(藤沢市自転車活用推進計画)【実施計画】(はしる・とめる)」に基づき駅周辺を中心に駐輪利用環境の向上に努める。 ・新たな駐輪スペースの確保 駐輪需要が高く放置自転車が多く見受けられる藤沢駅南口においては、藤沢駅鶴沼海岸線自転車駐車場整備に関する関係機関との調整を進めるとともに、藤沢駅南口自転車等駐車場の増設に伴う事業用地取得のため、東日本旅客鉄道株式会社との調整を進める。 ・既存無料駐輪施設の有料化の検討 (仮称)藤沢本町駅自転車駐車場、(仮称)藤沢本町駅第2自転車駐車場の有料駐輪施設において、令和4年度供用開始に向け、整備、調整を進める。 ・既存駐輪施設の利便性を高める方策の検討 既存有人有料駐輪施設9施設の機械化に向け、令和4年度に3施設の整備・調整を進める。	

9. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------

事務事業名	自転車駐車場整備費(繰越分)										担当課	部課名	道路河川部道路河川総務課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	07	細目	001	説明	02	課等の長	佐藤 繁	電話	4414

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 50 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	駐輪需要が高く、自転車等駐車場が不足している駅周辺の自転車等駐車場の整備を図る。また、無料自転車等駐車場の有料化、既存有人管理自転車等駐車場の機械化を段階的に進める。						
事業目的及び必要性	放置自転車の解消を図るとともに、歩行者の良好な道路環境の確保、自転車利用者の利用環境の向上を図ることを目的として、駐輪需要が高く自転車等駐車場が不足している駅周辺の自転車等駐車場の整備を図る必要がある。						
対象	1. 個人	市民				438,968 人	
根拠法令等	法律等	自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律、藤沢市自転車等の放置防止に関する条例、藤沢市自転車等駐車場条例					

藤沢市市政運営の総合指針2024及び長期的な視点(SDGsの視点)

まちづくりコンセプト		重点施策名
<input type="checkbox"/> サステナブル藤沢 <input type="checkbox"/> インクルーシブ藤沢 <input type="checkbox"/> スマート藤沢 (その理由)		防犯・交通安全対策の充実
		指針体系コード
		1-2-31
2030年又は事業終了時の望ましい姿		その他の計画との関連
		自転車施策に関する総合的な計画である「ふじさわサイクルプラン」(自転車活用推進計画)の実効性を高めるため、実施計画を策定している。
		貢献する主なSDGsのゴール
		3 すべての人に健康と福祉を
		11 住み続けられるまちづくりを
		17 パートナーシップで目標を達成しよう

関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」

市民意識調査における質問項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
自転車の駐輪施設(駐輪場など)の場所や設備について	2.41 点	点	点	点
道路や施設が誰でも利用できるものであること	点	3.13 点	3.14 点	3.37 点

令和3年度 支出済額  66,598 千円	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	工事請負費	65,687 千円	江ノ島駅、藤沢本町駅の自転車等駐車場整備工事
	補償補填費及び賠償金	911 千円	藤沢本町駅工事施工に伴う支障物件移設
【参考】 令和4年度 予算額  0 千円	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容

2. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
常時勤務職員※	-	-	0.15人工	0.15人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	-	-	0.00人工	0.00人工
非常勤職員	-	-		
合計	0.00人工	0.00人工	0.15人工	0.15人工

※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く

会計年度任用職員(配置数)			0.00人	0.00人
---------------	--	--	-------	-------

3. 事業実施内容・成果

令和3年度 事業実施 内容	ふじさわサイクルプラン実施計画にもとづき自転車等駐車場の有料化の取組を行った。 江ノ島駅自転車等駐車場の供用を開始。(令和3年7月16日) (仮称)藤沢本町駅自転車等駐車場整備工事(造成)が完了した。(令和3年10月8日)						
	指標名	単位	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	令和2年度 目標値	令和3年度 目標値	備考
成果目標	放置自転車等台数(対前年比10%減)	台/日	198	178	160	144	
	警告書の添付枚数(対前年比10%減)	枚/年	26,244	23,620	21,258	19,133	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	令和2年度 実績値	令和3年度 実績値	備考
	市営自転車等駐車場の増加収容台数	台	362	0	-259	-99	有料化に伴う、無料自転車等駐車場の閉鎖により収容台数が減少。
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	放置自転車等台数(実態調査)	台/日	140	246	132	123	令和2、3年度はコロナ禍の影響と考えられる。
	警告書の添付枚数	枚/年	18,713	21,680	12,693	11,492	
	市営自転車等駐車場の総収容台数	台	15,319	15,319	15,060	14,961	
数値で表せない効果							

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	0	0	9,177	67,926
	(1)現金を伴う支出 (千円)	0	0	8,724	67,926
	事業費(支出済額)			7,336	66,598
	償還金利息			0	0
	人件費合計(①+②+③)	0	0	1,388	1,328
	①常時勤務職員等の給与等			1,307	1,265
	②会計年度任用職員の報酬等			0	0
	③退職金相当額			81	63
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	0	0	453	0
	①減価償却費			0	0
	②退職給与引当金繰入額			453	0
	③不納欠損額			0	0
	④その他( )			0	0
	行政収益(事業収入) B	0	0	5,500	49,200
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	5,500	49,200	
①分担金及び負担金 c			0	0	
②使用料及び手数料 d			0	0	
③国庫支出金			0	0	
④県支出金			0	0	
⑤その他(自転車等駐車場整備事業債)			5,500	49,200	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額			0	0	
収支差額(純費用) A-B E	0	0	3,677	18,726	
分析指標	項目	15,319	15,319	15,060	14,961
	市営自転車等駐車場の総収容台数 F	単位 15,319	単位 15,319	単位 15,060	単位 14,961
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	0.00	0.00	609.36	4,540.21
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	0.00	429,317	0.00	433,060
受益者負担率 (C+D)/A (%)	-	-	0.00	0.00	

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員給与合計」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていく上での課題と課題解決の取組

(1) 令和2年度末時点の課題	
(2) (1)解決のための令和3年度の取組	
(3) 令和3年度末時点の課題	
(4) (3)解決のための今後の取組	

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ~オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの <input type="radio"/> エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの <input type="radio"/> イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの <input type="radio"/> イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2~4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和3年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上~300,000千円未満 <input type="radio"/> ウ=30,000千円以上~100,000千円未満 エ=5,000千円以上~30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50~80%未満 ウ=30~50%未満 <input type="radio"/> エ=10~30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10~30%未満 ウ=30~50%未満 エ=50~80%未満 オ=80%以上

(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
3. 施設等整備	なし

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	令和3年度はコロナ禍のため、自転車等駐車場の利用率がここ数年に比べ減少しているが、本市の人口予測では令和12年まで増加が見込まれ、自転車等の利用者についても増加する傾向にあることから、駐輪需要を満たす自転車等駐車場の整備推進が必要である。また、施設についても老朽化が進み改修の際の代替施設も必要である。一方でコロナ禍のため、新しい生活様式への変化も想定されるため、今後注視する必要がある。			
	令和3年度(参考)	横須賀市	平塚市	藤沢市
他市等の事例	市営駐輪場箇所数	28カ所	19カ所	34カ所
	収容台数	8,769台	11,812台	14,961台
	放置自転車	370台	23台	123台
市民ニーズ	把握方法	指定管理者による施設の運営等に関する年1回のアンケートを実施。 (昨年度はコロナ禍のため、実施していない。)		
	把握内容	指定管理者によるアンケートでは、駐輪場所の増設・拡大、照明設備の充実や場内駐輪間隔の拡大などが求められている。		
	対応等	引き続き市民ニーズの把握に努めるとともに、多様なニーズへの対応検討を含め、今後の駐輪施設整備をはじめとする様々な自転車等に関する施策に反映するよう努める。		

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	「ふじさわサイクルプラン」について実効性を高めるため、「ふじさわサイクルプラン(藤沢市自転車活用推進計画)【実施計画】(はしる・とめる)」を策定した。 7月16日に江ノ島駅自転車等駐車を供用開始し、(仮称)藤沢本町駅自転車駐車場整備工事の造成工事が完了し、引き続き(仮称)藤沢本町駅自転車駐車場整備工事に着手したことにより、良好な自転車利用環境及び歩行環境の確保につながった。 藤沢駅周辺について、空いている民有地の空スペースを民間駐輪場として利用する駐輪場シェアサービス事業において、協定に基づき不正駐輪に対する警告、移動及び保管について協力をを行い、不足している駐輪場の確保を図った。	
	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	令和2年度に策定した「ふじさわサイクルプラン(藤沢市自転車活用推進計画)【実施計画】(はしる・とめる)」に基づき駅周辺を中心に駐輪利用環境の向上に努める。 ・新たな駐輪スペースの確保 駐輪需要が高く放置自転車が多く見受けられる藤沢駅南口においては、藤沢駅鶴沼海岸線自転車駐車場整備に関する関係機関との調整を進めるとともに、藤沢駅南口自転車等駐車場の増設に伴う事業用地取得のため、東日本旅客鉄道株式会社との調整を進める。 ・既存無料駐輪施設の有料化の検討 (仮称)藤沢本町駅自転車駐車場、(仮称)藤沢本町駅第2自転車駐車場の有料駐輪施設において、令和4年度供用開始に向け、整備、調整を進める。 ・既存駐輪施設の利便性を高める方策の検討 既存有人有料駐輪施設9施設の機械化に向け、令和4年度に3施設の整備・調整を進める。	

9. 部長確認欄

部名	道路河川部	氏名	北村 和利	確認日	2022/8/30
----	-------	----	-------	-----	-----------